



高校の校長先生の話から

早いもので、今年も1ヶ月が過ぎました。1月のカレンダーをめくりながら、「1月は行って、2月は逃げて、3月は去る」という言葉の意味をかみしめています。学年を締めくくるこの時期に、2学期末の生徒・保護者アンケート結果（詳細は次ページ参照）から残り少ない今年度を振り返り、次の学年につなぎたいものです。

アンケートで肯定的回答（[よくできている]+[だいたいできている]）の割合が高かったのは、次の項目でした。

◎評価が高かった項目（上位5）

※は保護者のみの質問項目。他は生徒・保護者共通の質問項目。

【生徒】

- ①友達と仲良くしている………98%
- ②校則を守って生活できている………98%
- ③人権意識が身についてきている………97%
- ④先生は熱心に勉強を教えてる………97%
- ⑤学校は一人一人を大切にしている………96%

【保護者】

- ①先生は熱心に勉強を教えてる………96%
- ②保護者参観の機会は適切である※………94%
- ③学校は一人一人を大切にしている………92%
- ④友達と仲良くしている………91%
- ⑤人権意識が身についてきている………89%

「友達と仲良く」「先生は熱心」「人権意識」「一人一人を大切」は生徒・保護者ともに上位に入り、高い評価となっています。また、生徒アンケートからは大半の生徒が「校則を守って生活」している様子も伝わってきます。

一方、あまり評価が高くなかったのは、「授業態度」と「家庭学習」に関する項目でした。

▲評価が高くなかった項目（下位2）

【生徒】

- ⑫発表したり意見を言ったりできる…73%
- ⑬進んで家庭学習に取り組んでいる…68%

【保護者】

- ⑭発表したり意見を言ったりできる…57%
- ⑮進んで家庭学習に取り組んでいる…45%

中学校までの義務教育とは違い、中学卒業後の進路は“白紙”です。3年かけて準備し、自分の意思と努力で切りひらくしかありません。高等学校等への進学を志す人が多いと思いますが、そのためには中学校の内に最低限どんな学力をつけておけばよいのでしょうか。

高校の校長先生方は、このように話しています。

「まじめに授業を受ける。提出物を期限までに出す。これに尽きる」

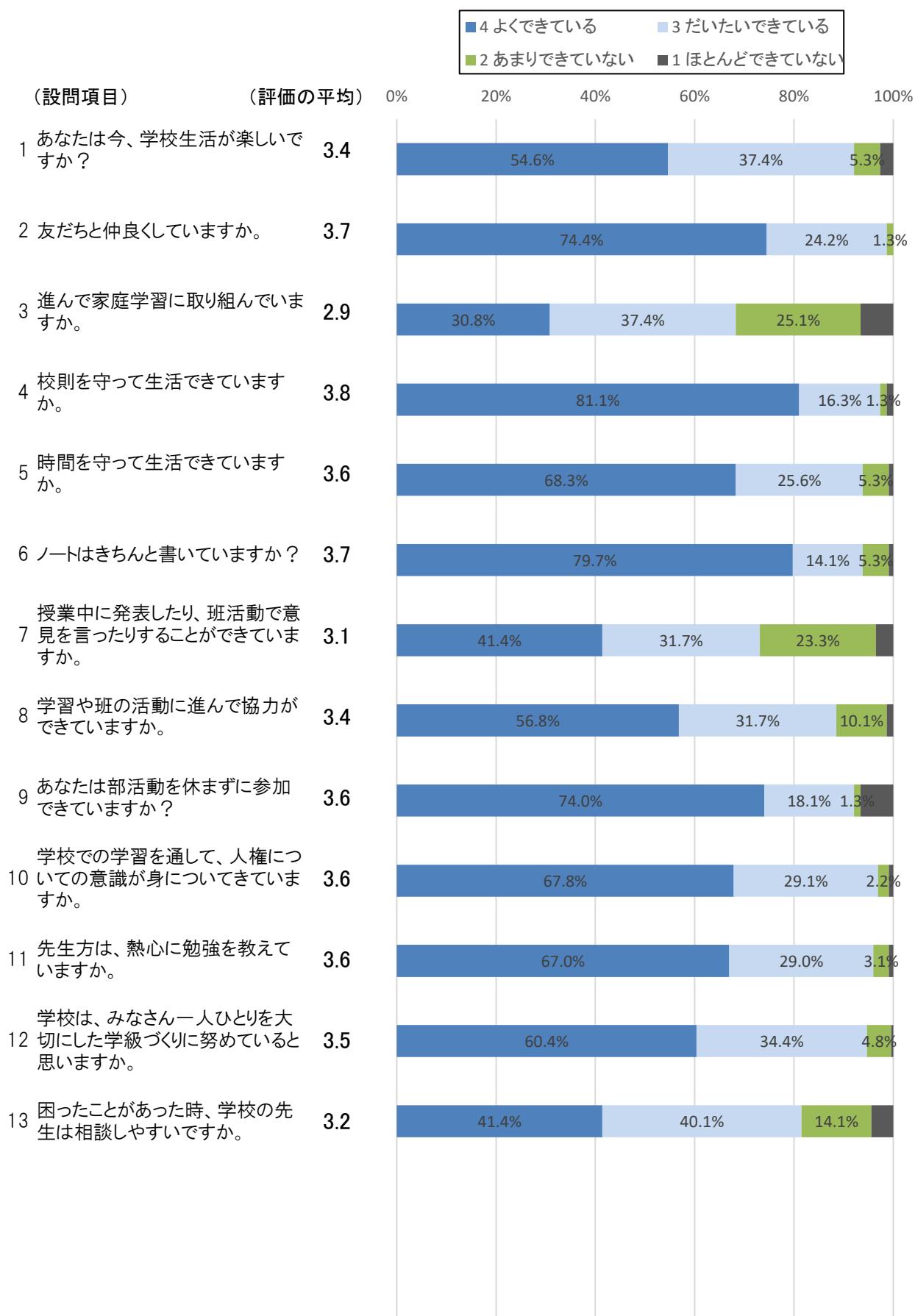
「毎日の家庭学習習慣が身に付いている」「欠点(赤点)をとっても、ちゃんと追試験を受ける」

（令和7年度「三觀地区中・高 校長連絡協議会」における高校の校長先生の話より）

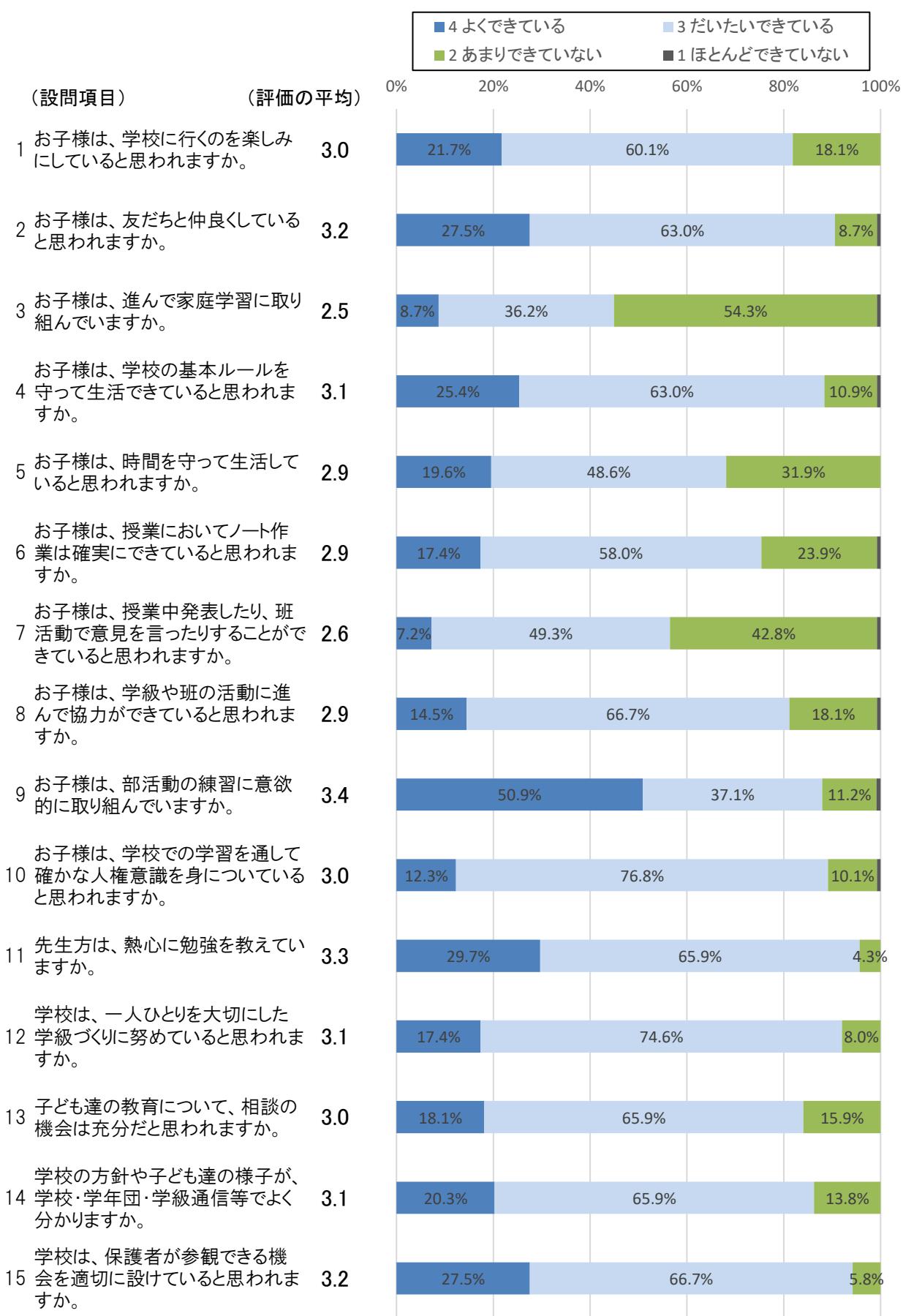
「当たり前」のことばかりで拍子抜けしましたが、皆さんはこうした習慣が身に付いていますか。試験結果や進路先ばかりを気にする前に、まずは「当たり前のことが当たり前にできる」習慣が身に付いているかを自己点検してほしいと思います。中学3年間は短く“光陰矢のごとし”ですが、こうした習慣はすぐに身に付くものではなく、一日一日の積み重ねが何より大切です。

*光陰矢のごとし…意 「光陰」は月日、年月のこと。月日のたつのが早いことのたとえ。

令和7年度 2学期末 いきいきアンケートの集計結果(全学年)



令和7年度 2学期末 学校経営・運営に関する保護者アンケートの集計結果(全学年)



* アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の改善に生かしてまいります。